



広報

なま

市民の友

第617号 毎月1回発行
2002年(平成14年)

6月

発行●那覇市 編集●秘書広報課
〒900-8585 那覇市泉崎1丁目1番1号
☎ 867-0111 ●印刷(協)丸正印刷

市の人口と世帯	
* 内はうち外国人	
2002(平成14)年4月末現在	
総人口	306,273(1,707)
男	148,181(874)
女	158,092(833)
世帯数	118,614(949)
本庁	85,645
真和志	105,953
首里	58,577
小禄	54,391



南西の風を受けて

SAIL KOREA 2002

世界帆船フェスティバルin沖縄

主な紙面

- (2面) 市政功労者14名を表彰
- (3面) 第28回那覇ハリー
- (4面・5面) 那覇市ロシア訪問団レポート
- (6面) ふれあい看護体験
- (7面) 情報PACK

5月11日午後2時、10隻の帆船は沖縄から参加した訓練生たちを乗せ、南西の風を帆いっぱいにして、第一レースのゴール韓国・仁川へ向け出帆しました。

寄港中の3日間、岸壁では韓国の物産バザールやステージコンサート、帆船の一般公開などのイベントが催され、約500人の乗組員たちはイベント会場や那覇市の街角で市民レベルの和やかな国際交流を楽しみました。

同帆船レースは韓国が日本の沖縄と横浜の協力で実施したもので、5か国10隻の帆船が次々と入港し、市民に華麗な姿を披露しました。

今回、沖縄・那覇市が第1レースのスタート地に選ばれたのは、1997年に大阪府築港百年記念イベント「SAIL OSAKA」で30隻の帆船を受け入れた際の沖縄のホスピタリティ豊かな歓迎が高く評価されたことでした。8日午前に入港したロシアの帆船「ラダ号」は、さっそく午後には市内の幼稚園児を船内に招待、園児たちは帆船の大きさに可愛い喚声をあげていました。

「韓国世界帆船大会」のブレイベントとして、SEIL KOREA 2002世界帆船フェスティバルin沖縄」が5月8日から11日まで、那覇軍港で開催されました。

同帆船レースは韓国が日本の沖縄と横浜の協力で実施したもので、5か国10隻の帆船が次々と入港し、市民に華麗な姿を披露しました。

今回、沖縄・那覇市が第1レースのスタート地に選ばれたのは、1997年に大阪府築港百年記念イベント「SAIL OSAKA」で30隻の帆船を受け入れた際の沖縄のホスピタリティ豊かな歓迎が高く評価されたことでした。8日午前に入港したロシアの帆船「ラダ号」は、さっそく午後には市内の幼稚園児を船内に招待、園児たちは帆船の大きさに可愛い喚声をあげていました。

「韓国世界帆船大会」のブレイベントとして、SEIL KOREA 2002世界帆船フェスティバルin沖縄」が5月8日から11日まで、那覇軍港で開催されました。

同帆船レースは韓国が日本の沖縄と横浜の協力で実施したもので、5か国10隻の帆船が次々と入港し、市民に華麗な姿を披露しました。

今回、沖縄・那覇市が第1レースのスタート地に選ばれたのは、1997年に大阪府築港百年記念イベント「SAIL OSAKA」で30隻の帆船を受け入れた際の沖縄のホスピタリティ豊かな歓迎が高く評価されたことでした。8日午前に入港したロシアの帆船「ラダ号」は、さっそく午後には市内の幼稚園児を船内に招待、園児たちは帆船の大きさに可愛い喚声をあげていました。

「韓国世界帆船大会」のブレイベントとして、SEIL KOREA 2002世界帆船フェスティバルin沖縄」が5月8日から11日まで、那覇軍港で開催されました。

同帆船レースは韓国が日本の沖縄と横浜の協力で実施したもので、5か国10隻の帆船が次々と入港し、市民に華麗な姿を披露しました。

今回、沖縄・那覇市が第1レースのスタート地に選ばれたのは、1997年に大阪府築港百年記念イベント「SAIL OSAKA」で30隻の帆船を受け入れた際の沖縄のホスピタリティ豊かな歓迎が高く評価されたことでした。8日午前に入港したロシアの帆船「ラダ号」は、さっそく午後には市内の幼稚園児を船内に招待、園児たちは帆船の大きさに可愛い喚声をあげていました。

「韓国世界帆船大会」のブレイベントとして、SEIL KOREA 2002世界帆船フェスティバルin沖縄」が5月8日から11日まで、那覇軍港で開催されました。

同帆船レースは韓国が日本の沖縄と横浜の協力で実施したもので、5か国10隻の帆船が次々と入港し、市民に華麗な姿を披露しました。

今回、沖縄・那覇市が第1レースのスタート地に選ばれたのは、1997年に大阪府築港百年記念イベント「SAIL OSAKA」で30隻の帆船を受け入れた際の沖縄のホスピタリティ豊かな歓迎が高く評価されたことでした。8日午前に入港したロシアの帆船「ラダ号」は、さっそく午後には市内の幼稚園児を船内に招待、園児たちは帆船の大きさに可愛い喚声をあげていました。



市役所には、さらなるサービス向上のため「ABCDEF運動」を提案しますと話す坂巻さん

私の名前は嘉孝ですが、「よし」の漢字を書ける人は本土ではあまりいません。でも、沖縄では常識です。比嘉さん、嘉孝さんの「嘉」です。前から導かれ、いつか沖縄で勤務するのではないかと思っていました。2000年7月の歴史的イベントであるサミット直前に着任いたしました。

沖縄の自然、歴史、文化にふれつつ、また多くの人と泡盛を飲みながら語り、この2年間楽しく有意義にすごしております。

今日は、この紙面をお借りして「私の独り言」。

「かりゆしウェア」。

県知事・市長以下官民あわせて、かりゆしウェアを着用し、トロピカル沖縄をアピール。会議室では寒い時もある。けれど、一度着たらやめられない。

沖縄では「食して飲なり」。

本土では、つまみを食べながら酒を飲み、最後にご飯物を食べる。書いて字のごとく飲食。沖縄では食して飲なり。しっかりと食べてそ

れから泡盛を仲間と楽しむ。本土で見かけるような酔っぱらいは少ないみたい。

「旅行」から「旅交」へ。

沖縄の観光の目玉は「青い海・青い空」。更には「うちらんちゅ」の「肝くる」が重要。温かいおもてなしの心が観光客の心をなごませる。市民の役割も大きい。

「旅行」から「旅交」へと「旅」は進化していく。

「ABCDE」運動を。

翁長市長がお客様第一主義を唱え、市幹部・職員一体となってサービス向上活動に取り組んでおられます。成果は、徐々に見られ、市役所を訪ねても、明るい雰囲気を感じ、「継続は力なり」の言葉通り、トップダウン(まずは幹部が模範となって)で更に愛される市役所にして頂きたいものです。

「ABCDE」運動を提案します。

これまで以上に、

「当たり前」のことを、馬鹿にせず、ちゃんと、出来るまで、笑顔でやる。

支店の視点④

さかまき よしたか
坂巻 嘉孝

(日本航空沖縄支店長
兼ジェイセールス沖縄社長)

1947年(昭和22年)生まれ。福岡市出身。入社後、神戸、福岡、東京、大阪、香港等で勤務。2000年7月に沖縄支店に着任。同年10月(株)ジェイセールス沖縄(JAL JTA RAC JALPAK JALST-J・J-TAP等の座席、商品を販売)を立ち上げ、同社社長に就任。(財)沖縄観光コンベンションビューローの理事として沖縄観光の発展に取り組む中。

本庁市民課・国民健康保険課の窓口は毎日午後6時まで開いています。(土・日、祝日を除く)